

平成30年度第2回 七宝北中学校地区委員会  
会議録（大要）

開催日時	平成30年12月12日（水）午後1時～
開催場所	七宝北中学校 会議室
出席委員	七宝小学校関係：木全 孝（校長） 佐藤典子（運営協議会委員） 亀山大介（PTA代表） 宝小学校関係：横井三千代（校長） 水野文男（運営協議会委員） 田口健次郎（PTA代表） 秋竹小学校関係：安井明人（校長） 大西純滋（運営協議会委員） 篠田小学校関係：飯田康正（校長）宮地正耕（評議員） 原 貴子（PTA代表） 美和東小学校関係：林 俊文（校長）鈴木良法（評議員） 七宝北中学校関係：中野義彦（校長）糸野俊弘（評議員） 宮地砂稚（PTA代表） 一般公募関係：小澤 勝・春木良美 前委員長：溝口 紘
欠席委員	伊藤委員・北浦委員
出席者	松永教育長、三輪教育部長、前田教育次長、吉川学校教育課長、 内山主幹、杉藤課長補佐
傍聴人	4人
議事日程	（1）市民への周知について （2）中学校進学時における七宝北中学校へ学区外通学をすること についてのアンケート（案）について （3）適正規模化に向けた学区外通学を導入する場合のスケジュール（案）について

委員長	<p>本日は、ご多忙のところ、ご出席賜りましてありがとうございます。ただいまより、あま市立小中学校適正規模等に向けた検討委員会 平成30年度第2回七宝北中学校地区委員会を開催します。</p> <p>それでは、最初に、市教育委員会を代表しまして教育長よりごあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>皆様、こんにちは。月日の経つのも早いもので、平成も最後の年末年始を迎える時期になりました。委員の皆様方には大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本年度第2回目ということで第1回目です。今後の方向性についてお示しをし、その後各学校を通じて今の状況を書面などでお示しさせていただきました。今日は、今後の日程的なものについて、委員の皆様のご意見をいただきながら前へ進めるということで会議を持ちたいと思っております。よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本委員会の議事録を市のホームページで公開するため委員会の内容を録音させていただきますので、ご了解くださいますようお願いいたします。また、本日は、七宝北中学校の入学説明会・学校公開日となっております。良い機会ですので、委員の皆様方にも授業等の見学をしていただければと思います。地区委員会は午後2時までを目途として進めていきたいと思っております。議事進行にご協力をお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、「議題（1）市民への周知について」に入ります。この件につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>委員長、議題（1）に入る前に、委員から適正規模に関する報告資料をいただいております。委員より説明をお願いしていいですか。</p>
委員長	<p>よろしくをお願いします。</p>
委員	<p style="text-align: center;"><b>委員提出報告資料説明。</b></p> <p>今回七宝北中の文化祭・体育祭・小中学校交流会に見学にこられた方の感想をまとめさせていただきました。「文化祭は合唱がとてもよかった。穏やかな雰囲気だった。入学前の小学校の参観の機会がとてもよかった。同じような機会があればいい。という感想がありました。体育祭は人数が少なく生徒全員が参加するプログラムで保護者が子供を見つけやすい。小中学校交流会では室内オーケストラが素晴らしかった。合唱がとても上手だった。子供たちにとって入学前の良い経験となっている。」という感想がありました。全体の感想として人数がとても少ない印象を受ける。アットホームな雰囲気よく目が行き届くと感じられた方がほとんどでした。裏面については、今回の七宝北中学校見学についての参加人数・課題について記載させていただきました。文化祭・体育祭については七宝北中からご案内をいただきました。篠田小からは、2～3人の保護者の方</p>

	<p>が参加されました。課題ですが、台風などの関係で日程変更がありました。その変更の連絡が行き届いてなくて、今後、区域外入学が導入された場合、どのようにして保護者の方にフォローしていくかが課題と思い、こちらに記載させていただきました。交流会ですが、篠田小からは、2～3人の保護者の方が参加されました。こちらの課題としては、学区外通学が導入され、もし、入学希望される児童がいたとします。その子たちが参加できるかどうか大きな問題になるかと思えます。参加させていただいて、とても素晴らしい交流会だったので、音楽を通して皆と合唱する、また、オーケストラと合唱することは素晴らしいことと思えました。参加できないということならば、そこでひとつ思い出が無くなるかなど。逆に、この交流会に入るためには練習をしなければならないし、本当に行くかどうか分からないので、そのあたりが難しい問題なのかとも思ったりしております。その他、七宝地区の保護者からいただいた情報で、七宝北中の野球部が休部であることがわかり、部活動への不安が増大しています。部活動に対する情報発信ができていなかったのがあります。保護者の方からの心配は、具体的には少年野球のことですが、現在、篠田小学校の児童は秋竹小・宝小の野球チームと一緒にやっています。「七宝北中で一緒に野球ができると思って入学した場合、どうなるのか。」ということが問題になるんですが、部活動があるかないかは、どの学校でも一緒だとお聞きしているので、そのことは常任で説明していきたいと思っています。あと、通学路の整備がうやむやになっており、安全安心な登校に不安が広がっています。そのことについては、こちらの方から発信していませんのでフォローしていきたいと考えています。そこで、篠田小学校適正委員で篠田地区から七宝北中学校までの通学路を検証させていただきましたところ、危険個所が数か所あり、次回会議にレポートとして提出させていただきたいと思えます。委員の皆様と情報共有し、より良き判断を仰ぎたいと思えます。また、夏休み前に配布されたプリントにより、保護者の方々へ正しい情報が伝わっておらず、保護者の方々の不安の声がだんだんと高まっております。この不安を解消すべく、適正委員として一刻も早く現状報告会を行いたいと考えておりますが、報告する日程を調整すること、報告に対して確固たる決定事項が無いことにより開催できない状態です。現状では保護者の方々に平等に正しい情報を届けることが困難であり、一刻も早い教育委員会主催の説明会開催を希望しております。ご多忙かと思えますが現状打開のため、七宝北中学校の学区外通学の説明会の開催を重ねてお願いいたします。以上です。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ありがとうございました。委員長、このまま進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p>

委員長	結構です。
学校教育課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、委員から報告資料の説明をしていただきました。特に裏面についてですが、日程変更等については来年度以降改善したいと思っております。通学路の関係や教育委員会主催の説明会開催等につきましては、議題（１）・（２）を説明する中でコメントさせていただきたいと思っておりますので、委員の内容等につきましてはいったん閉じさせていただき、議題（１）の方に入りたいと思います。それでは、議題（１）を説明させていただきます。</p>
学校教育課長	<p>「１．市民への周知について」 <span style="float: right;"><b>資料１の朗読説明。</b></span></p> <p>資料１をご覧ください。資料１は、おたよりNo.2です。これは、冬休みに入る直前の日に、美和東小・篠田小・七宝小・宝小・秋竹小・七宝北中学校の保護者・児童生徒の皆さんへお配りしたいと考えております。以前、配布させていただきました、No.1と同じように学校を通じて配りたいと考えています。今回、No.1と少し表現を変えているところがございます。おたよりと書いてあります下の見出しのところでは、七宝北中学校へ適正規模化に向けた学区外通学の導入という文言になっております。また、その下に七宝焼きのシッピョンがあります括弧書きのところは、おたよりNo.1の「選択制」を「学区外通学」に変更しております。内容につきましては、適正規模というところで選択制という文言を使っておりましたが、選択制という文言を使いますと誤解が生じやすいのではという指摘がありました。具体的には、七宝北中学校で選択制を導入しますが、これが例えば、七宝中学校とか甚目寺地区の甚目寺中学校とか甚目寺南中学校とか波及していくのではないかと等、選択制が自由に広がっていくのではないかとという意味合いで捉えられる可能性があるため使わない方がいいのでは、ということでした。そういった中で選択制という文言自体は法律的な文言としては存在しますが、そういった懸念を払拭するということも踏まえまして、今回からは選択制という文言に変えましてこの「学区外通学」、これも法律の用語なんです、この「学区外通学」という文言で統一して使用していくことご理解をお願いします。ただ、学区外通学といいますと、例えば今、伊福に住んでおみえの方は七宝中へ進学しますが、沖ノ島へ引っ越しされると七宝北中学校へ通うこととなりますが、卒業学年だと入試等に影響が出る場合もありますので、保護者の方が希望されれば、教育委員会としては、七宝中学校への区域外就学として認めています。こういった手続きをしておりますが、通常、こういう場合に学区外通学という言葉が使われます。今回の適正規模につきましては、通常学区外通学という言葉を使ってしまいますと混乱が生じます。その関係で、「七宝北中学校へ適正規模化に向けた学区外通学」</p>

	<p>という言葉を使いたいと考えています。ご理解をお願いいたします。そういったことも踏まえまして、おたよりNo.2で、「学区外通学とは」「学区外通学の対象は今後拡大するのか」「学区外通学の対象となる小学校は」の説明を記載させていただきました。また、導入目標は、平成32年度(2020年度)、平成31年1月には美和東小・篠田小・七宝小の5年生以下を対象とするアンケートを記載させていただきました。以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの事務局の説明に対しまして、何かご質問・ご意見はありませんか。ご質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。</p>
委員	<p>下から6行目に「お見えになる」という記述がありますが「見える」という漢字でいいのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>実はですね。おみえになるというのは、東海3県の「居る」という言葉の丁寧語・尊敬語の方言だそうです。東海3県以外の方には通じないかもしれませんので、委員がご指摘いただきましたように、表現を少し変えたいと思います。</p>
委員	<p>目標年度は32年度ということですが、準備状況により33年度とされているが、準備状況の準備とは何をさすのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>これにつきましては、資料3の内容に関連してきますが、今日2回目の委員会を開催しまして、3回目を31年2月にお願いしたいと考えています。3回目の委員会を開催し、委員の皆様の方で32年でよいのか、33年のほうがよいのか、というような提言を頂戴したいと考えております。その内容によって、3月の教育委員会会議におきまして導入年度の決定を考えています。しかし、3回目の委員会の内容を踏まえまして、判断させていただくということもありますし、あと、資料2でアンケートの話もさせていただきますが、アンケートの集計結果も踏まえながら、3回目の委員会で委員皆様の提言をいただきたいと考えています。こういったことなどを準備状況という言葉で表現させていただきました。</p>
委員	<p>学校選択制という文言を使わないのは、指定校変更要件の緩和ということで変更するという説明だったと思います。学校選択制の何がまずいのでしょうか。もう少し説明をお願いしたい。</p>
学校教育課長	<p>選択制という言葉自体はありますが、選択制という言葉聞いた時に、自由に選択できるという意味合いで捉えられて、混乱するのではないかと一つです。七宝北中学校以外でも選択制が導入される等、選択という言葉が、違った意味で一人歩きしてしまう懸念を払拭するというのが一つです。選択制としても学区外通学としても、事務的には何ら変わりありませんので、よろしく願います。</p>

委員長	他に質問が無ければ、「議題（２）中学校進学時における七宝北中学校へ学区外通学をすることについてのアンケート（案）について」に入ります。この件につきまして、事務局より説明をお願いします。
学校教育課長	<p>「（２）中学校進学時における七宝北中学校へ学区外通学をすることについてのアンケート（案）について」 <b>資料２の朗読説明。</b></p> <p>資料２をご覧ください。左側の方が「七宝北中学校へ学区外通学をすることについてアンケートにご協力を」、右側が「アンケート用紙」です。まず、左側の方をご覧ください。上部は先ほどお話しさせていただいたことが記載してあります。囲い書きの「アンケートについて」です。アンケートの対象者等を記載しています。また、点線で囲んであります「適正規模化に向けた学区外通学について」では導入目標年度を記載させていただきました。右側をご覧ください。アンケート用紙です。美和東小を例としております。年明け、１月に配布、１週間ぐらいで回収を考えています。項目としては、学年と進学希望校及び自由意見です。このアンケートの目的としましては、先ほど委員から説明会の開催についてお話がありましたが、事務局で考えたのは、このアンケート用紙を学校を通じて配布し、回収することにより、例えば美和東小の方は、進学先が美和中なのか、七宝北中なのか、もしくは国立・私立なのか、どれかに必ず保護者の方が○を付けるということになりますので、自分が主体的な○を付けることになります。とすれば、説明会を開く以上の効果があると考えています。従いまして、美和東小・篠田小・七宝小の児童全員が七宝北中へ進学するということならば説明会は必要かとも思いますが、希望される方のみが七宝北中へ進学してもいいというスタンスですので、あえて「全員を対象とした説明会の開催は必要なのか」と考えています。それよりは、こういった簡単なアンケートで選択肢を示した方がいいのかなと考えています。実際、一部の学校の保護者の中には七宝北中へ進学するものと思いついでいる方がみえます。繰り返しになりますが、アンケート等の実施により選択肢があることを分かってもらえると思います。あと、今現在、七宝北中を希望される方がどのくらいなのか、事務局としてデータを持っておりません。このアンケート実施により、ある程度の人数が把握できるのではないかと考えております。</p>
委員長	ただいまの事務局の説明に対しまして、何かご質問・ご意見はありませんか。ご質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。
委員	資料にあるのは、美和東小のみですが、他の学校にもアンケートを出すのですか。

学校教育課長	資料では、美和東小の例ですが、篠田小・七宝小にもアンケートをお願いします。篠田小の場合は、選択肢は変わりありませんが、七宝小の場合は、選択肢の中の美和中が七宝中に変わりますが、アンケートの主旨は変わりません。学校ごとにアンケートをさせていただきます。
委員	アンケートについてですが、保護者の方々にきちんと認識を持ってもらうにはいいと考えますが、選択制度についての細かいところが周知されていないと思います。例えば、部活動についても、入学後にしか他の学校ではあるような部活動の有無が分からない。こういう状況では、制度の説明が足りないのではないのでしょうか。こういう紙面だけではなく、きちんと口頭で説明したほうがよいのではないのでしょうか。先日、篠田小の常任がありました。やはり、皆さん選択制度を導入するのであれば、きちんとした説明がいるという意見でした。これは篠田小PTAの総意として述べさせていただきます。
学校教育課長	今の野球部あるとかないとか、説明会だとか、意見ありがとうございます。資料3のスケジュールの中で個別の対策などをお話しさせていただきたいと考えています。委員長、すみませんが資料3も含めまして答弁させていただきたいので、資料3の説明をしてよろしいでしょうか。
委員長	その前に何か質問ありませんか。
委員	アンケートの取り方についてです。無記名ということですが、今回の場合、無記名ですのでごく安易に考えて答える方が多くなるのではないのでしょうか。今後を考える場合に、そういうデータで役立つのでしょうか。記名の方がある程度正しい情報が得られるのではないのでしょうか。
学校教育課長	委員の「記名ではどうか」ということですが、事務局としても誰々が希望しているかというのを把握したいのは山々ですが、こういった事を初めて行う中で、七宝北中の校長先生にお伺いしましたところ、全部で20件ぐらいの問合せがあったということです。ただ、その問合せが希望される方なのか等は分かりませんが、関心のある方がおたよりNo.1を出したことによりされたのかなと思います。今、無記名で考えていますが、記名としますと逆に。
委員	データとして不十分ではないかという主旨ですが。
学校教育課長	不十分かどうかといいますと、十分とは思いませんが、ただ、どのくらいの方が、どういう考えかなということで、それが例えば30人ぐらいとか60人ぐらいとか100人ぐらいとかで進み方が変わってくると思います。もし、それが少なければ啓発しなければならないでしょうし、10人とか20人ぐらいであればマンツーマンでの対応も考えられます。しかしながら、今年度については、今の

	段階でどのくらい希望される方がいるのか、大まかでも把握したいので、ご理解をお願いします。また、先ほども申しましたように、選択肢があるということを確認していただくことも一つの狙いですので。
委員	アンケートのデータをとということだったので意見しましたが、大まかな動きを掴めればということならば、無記名でもいいかなと思います。
学校教育課長	先ほど、30人とか100人とかアバウトな数を申し上げましたが、これが3人だとか少なければ対応を考えなければならないとは思いますが。今回は無記名でお願いしたいです。
委員	分かりました。
委員	部活動についてです。野球部の問題もそうですが、アンケートは無記名でやるという話ですが、クラブを作るにしても、学年を書かれても男女がわかりません。部活動のことを考えるのならば、性別を書いてもらった方がよいのではないのでしょうか。
学校教育課長	性別ですか。
委員	そうすると野球部ができるとか、ある程度分かるのではないか。
学校教育課長	検討させていただきます。
委員	アンケートについて説明会がなされるのかどうか。考えてらっしゃいますか。委員がおっしゃったように、説明会は希望者だけではなく全員にすべきと思います。実際、七宝地区にこれを出されても、情報が少なすぎるので、変わらず七宝中を希望される方が多いかなと思います。元々の問題というのは、七宝北中の人数が少ないため、生徒を入れようということから始まったと思います。そういう意味でアピールしなければならないということであれば、もっと情報を展開すべきかと。学校公開とか有効かと思いますが、足を運ばないといけないという億劫さがあるって、参加するという人が限られてしまう。そういった意味では、ご足労ですが、回っていただいて説明をする。興味がなかった人が説明を聞いて変わるかもしれない。いいPRになると思います。そういう意味ではやっていただいた方がいいと思います。
学校教育課長	貴重なご意見ありがとうございます。先ほどから説明会の話ができておりますが、まずはこのアンケートをやりたいと考えています。今後、様子がどのように変わっていくか分かりませんが、事務局としましては、全体の説明会ではなくて、他部局で実施されているようなタウンミーティングではありませんが、そういったものの適正規模版みたいなもの考える事も必要であるかなと思っておりますので、まずはアンケートでお示しすると考えております。今回のアンケートにより説明会の開催は考えておりません。今後の展開によっては、縮小版みたいなものも考えていかなければいけないかもしれ



	<p>れませんが、言葉は悪いですが七宝地区は関心が低いというか、逆に事務局の情報発信が足りないのかもしれませんが、先ほどから申しまわっているように、簡単なアンケートを対象者全員のところに配布させていただくことによって、まずは基礎固めができるのではないかと考えております。</p>
委員	<p>委員の発言に付け加えさせていただくと、七宝地区は後から入りましたので、周知が行き渡っていないというのが正直なところですね。アンケートによって関心を持ってもらうことについてはとてもいいことだと思います。私の考えですが、できれば4月のPTA総会にでも説明されてはいかがでしょうか。保護者の方にとっては、簡単に学校を選ぶということは大変な事なので、説明会を開催し、色々な質問とか情報を得たほうがいいのではないのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>今、色々なご意見をいただきましたので、今後の参考にさせていただきますと思います。</p>
委員	<p>アンケートを配られる時に、できたら七宝北中の案内のようなものがあれば、一緒に配ったらどうでしょうか。説明会もいいですが、説明会に参加される方も少ないのではないかとお思いますので、パンフレットのようなものを付けたほうがいいのではないかとお思います。あと、七宝北中への希望者が多くなったらどうするのかの対応を教えてください。</p>
学校教育課長	<p>今、委員の方からたくさん希望者があつた場合どうするのかのことですが、事務局としては正直、多くの方が希望されるとは考えづらいですが、もし、3クラス4クラス増えるような希望があつても、現段階では受け入れる事ができます。</p>
委員	<p>アンケートを年明けに配布されるとのことですが、導入年度が決定されていない段階で配布されると誤解を招くのではないのでしょうか。周知徹底されてから実施した方がいいのではないのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>周知徹底とは何をもって周知でしょうか。</p>
委員	<p>32年度からの導入ということは決定されていない段階で、現5年生に配ってしまうと、現5年生からとってしまう。準備が不足して33年度からとなると4年生からとなるので、アンケートを早く実施してしまうと余計混乱してしまうとお思います。</p>
学校教育課長	<p>先送りになると、33年度、4年生からとなるかもしれませんが、このアンケートはどのくらいの方が希望されているのかということ、まず知りたいということがありますので、もう少しこの注釈のところに表現を入れて、例えば33年度になった場合には、5年生は対象にはなりません、「32年度から導入された場合を想定してのアンケートです。」というようなことをいれさせていただくなどして対応させていただきたいとお考えています。</p>

委員	他の委員の方がどう思われるかお聞きしたいのですが、よろしいでしょうか。
委員長	はい。
委員	委員が言われたことも一理あると思います。ただ、5年生の方が本当に北中へ行きたいというところをもってですね、1年伸びたということになるとですね、4年生の人が対象になりますが、そういった場合、5年生の保護者の方々はどう思われるかということがありますので、ある程度は目標を立ててやった方がいいと思います。
委員	他の保護者から、「いつから導入されるのか。いつ説明会をやるのか。」というように聞かれます。事務局の方から「説明をしないでください。」ということがあったので説明をしていませんけども、色々問い合わせもありますが、安易に答えられないんです。委員が言われる通り、アンケートを出すと5年生の保護者の方もその気になってしまうのではないのでしょうか。アンケートを出さなということではなくて、出し方をもう少し検討したほうがいいのではないのでしょうか。傾向を把握するという事は大切だとは思いますが、もう少し周りの意見を聞いて、アンケートを出すタイミングとか検討した方がいいのではないのでしょうか。
委員	早めにアンケートは、32年度からとして取られたほうがいいのでは。このままだと、だらだらと引き伸ばすことになっていくのではないのでしょうか。
学校教育課長	今、委員から意見をいただきましたが、元々32年度を目標にしていますので、32年度から始めるのが大前提だと思います。何か不測があって遅れる可能性を考慮して33年度と記載させていただいておりますが、基本的には32年度から始めるものと事務局としては考えております。万が一、1年遅れるかもしれませんが、原則に従って、まずは5年生以下でアンケートを実施するという事で進めたいと考えています。先ほどから申しますように、このアンケートの内容が皆様に周知させていただくということと、事務局の今後の進め方の基になるようなデータを取りたいということもございますので、何とかアンケート自体は今年度中に実施したいと考えています。
委員長	他に質問が無ければ、「議題（3）適正規模化に向けた学区外通学を導入する場合のスケジュール（案）について」に入ります。この件につきまして、事務局より説明をお願いします。
学校教育課長	「（3）適正規模化に向けた学区外通学を導入する場合のスケジュール（案）について」 <b>資料3の朗読説明。</b> 資料3をご覧ください。今年度30年度から32年度までのスケジュールです。もし、これが遅れば32年度が33年度になります。30年度のところをご覧くださいと、12月のところに、「お

	<p>たよりNo.2」の配布。1月にアンケートの実施。アンケートの集計後、2月には地区委員会を開催させていただき、32年度から導入できるのか、33年度に伸ばした方がいいのかの提言書を作成していただき、教育委員会へ提出していただきます。3月につきましては、この提言書を基に、教育委員会会議にて、32年度にするのか、33年度にするのかをお諮りして決定したいと考えています。その決定に基づきまして、3月の春休みに入る直前に保護者の方へ「おたよりNo.3」を配付させていただくことを考えています。32年度導入となった場合のスケジュールです。4月に保護者への周知としまして「おたよりNo.4」を配付させていただきます。配布方法等は検討したいと思います。その後、7月までに希望者の照会を実施したいと考えています。この照会結果は県に報告させていただきます。9月以降につきましては、保護者の方から指定校の変更届出を申請していただきます。この届け出に基づきまして10月の教育委員会会議で審議承認していただきます。12月に32年度入学する児童に対する入学説明会があります。1月については、教育委員会から保護者の方へ就学通知を送付させていただきます。32年度4月から入学していただきます。また、先ほどから、例えば制服がどうなるのか、通学路はどうなるのか等そういった話が以前からありますが、4月～7月に希望者の照会を取りまとめる段階で100人200人の方が希望されるとは想定していませんが、希望者に対しましては個別に対応したいと思います。通学路に関しましては、全体が七宝北中に進学するということになれば、全体を見回した通学路を見なければなりません。今回の場合は安全な通学路を示すなど個別の対応をしたいと考えていますし、危険箇所については、土木サイドにも働きかけていきたいと考えています。いずれにしましても、4月～7月に希望者の照会結果などにより、教育委員会も各学校と協力してフォローしたいと考えています。</p>
委員長	<p>ただいまの事務局の説明に対しまして、何かご質問・ご意見はありませんか。ご質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。</p>
委員	<p>アンケートの実施が、仮に1月になった場合、このアンケート状況というのは、我々にどのように知らせてくれますか。</p>
学校教育課長	<p>2月に地区委員会を開催する予定ですが、委員会の場ではなく、アンケート結果の集計がまとまり次第、配布させていただきたいと考えています。</p>
委員	<p>スケジュールの中で12月の入学説明会の後に、教育委員会から就学通知が郵送ということですが、入学説明会と就学通知が逆ではないでしょうか。</p>

学校教育課長	入学説明会は七宝北中に限らず、他の4中学校でも実施されます。また、七宝北中への入学希望者には、指定学校変更届出を申請していただき、この届出申請に基づき10月教育委員会会議で審議承認していただきます。その後、11月頃には申請された保護者の方へ決定通知を郵送させていただきます。
委員	指定学校変更の希望者は希望された方全員が入学できるという前提は崩れないということですね。
学校教育課長	今回につきましては、特例として適正規模化に向けた学区外通学という要件での申請ですので、この申請につきましては、受け入れるということです。もう一つあるのが、締め切りが7月と早いんですが、例えば10月ぐらいに駆け込みで七宝北中へ入学したいという方や、7月照会時に七宝北中進学を希望したが取り消したいという方がみえた場合については、柔軟に対応したいと考えています。
委員	転居してきた方等にも柔軟な対応を取っていただけると理解してよろしいでしょうか。
学校教育課長	はい。その通りです。
教育長	資料3のところで付け加えをさせていただくと、資料3のところで七宝小の委員の方からもありましたが、PTA総会の日程が決まり次第、事務局が出向きまして説明させていただく機会も作りたいと考えています。また、今年度振返ってみますと学校祭の日程が同じ日程で組まれておりましたが、今後は調整させていただくということで努力していきたいと考えています。また、パンフレットまでは難しいですが、大体の学校の概要が分かるようなものも、北中学校と協力させていただきながら、今の段階での選択の参考にさせていただく、そんなふうを考えています。また、ご意見をいただければ、よりよい方向に進めていきたいと考えています。
委員	スケジュールの中で提言書提出というものがありますが、この会議で「提言書」を作成するのですか。
学校教育課長	作成していただきますが、委員会で一から作成するのは難しいので、事務局で32年度から導入する場合、33年度とする場合の二通りの原案を作成させていただきます。
委員	この会議で導入年度が決まるということですか。
学校教育課長	この会議で導入年度が決まるということではありません。教育委員会に対する提言を、地区委員会ですので地区委員会の総意として、どちらが良いかという提言書を決めていただきます。
委員長	あくまで提言ですから、この提言を踏まえて教育委員会の方で決定するという事です。
委員長	ありがとうございました。以上を持ちまして平成30年度第2回七宝北中学校地区委員会を閉会します。

委員長	その他、事務局、何かありますか。
学校教育課長	次回の委員会についてです。先ほど、スケジュールでご説明しましたとおり2月頃に予定したいと考えております。20日水曜日午後3時から開催できたらと思いますが、いかがでしょうか。その時にアンケート結果も含めまして提言書をまとめていただきたいと考えております。開催日より一週間前には提言書の原案などの資料につきましては配布したいと考えていますので、よろしく申し上げます。 以上です。